

三内丸山通信

第 73 号

令和2年12月10日

三内丸山遺跡センター
〒038-0031 青森市三内字丸山 305
TEL (017) 781-6078
FAX (017) 781-6103
URL <https://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/>

今年度の発掘調査終了！ー第44次調査の成果ー

第44次発掘調査は、遺跡北端部と南の谷北側地区で行いました。遺跡北端部では、溝状遺構について調査を行い、縄文時代中期末葉（約4200年前）以前に構築されたこと、30m以上続くこと、両側に柱穴列がみられること等から、とても珍しい遺構であることがわかりました。南の谷北側地区では、遺構の分布状況の調査を行いました。

溝状遺構の規模と年代

遺跡北端部では、昨年度までに2つの溝状遺構が見つかっています。

今年度は溝状遺構の規模を確かめるため、西側に範囲を広げて調査を行いました。

その結果、第315号溝状遺構は広範囲に削平を受けており、現時点で東端部からの全長が15mであると確認できました。

第316号溝状遺構は東端から少なくとも30m続き、さらに西側に延びることがわかりました。また、縄文時代中期末葉から平安時代の土層に



第315号溝状遺構

第316号溝状遺構

【溝状遺構の位置（写真右側が北）】

が底面から縁へ緩やかに広がる逆台形だとわかりました。②両側に柱穴列がみられる縁に近い緩やかな部分に、柱穴が列状に確認できました。東端

溝状遺構の構造

覆われており、その土層の一番下から縄文時代中期末葉の土器がまとまって出土したことから、溝状遺構が作られた時期が縄文時代中期末葉（約4200年前）以前であることも確認できました。

縄文時代中期にまで遡る溝状遺構は、全国的にも大変珍しいものです。

特徴がみられました。①横断面形が逆台形

第316号溝状遺構では、底面の幅が約1.5m程で、縁の幅は最大約7mあり、横断面

南の谷北側地区の成果

今年度までの調査で、これらの成果が得られましたが、全体の規模、柱穴列の分布状況や、この遺構の用途などについては明らかにできませんでした。

もう一つの調査地点である南の谷北側地区では、これまで調査が行われていない区域で調査を行いました。縦穴建物跡などの遺構は確認できませんでした。

今年度の調査成果については、令和3年3月中旬の遺跡報告会で発表しますので、ぜひお越しください。

企画展

「イミテーション・ワールド」開催

イミテーションとは「模倣、まね」という意味です。何かを模倣することは、どの時代や地域でもみられる人間の行為であり、縄文時代の出土品にも模倣されたと考えられるものがあります。代表的なものがミニチュア土器で、実用品の土器や木製品などを極端に小さく模倣しています。同じ形の道具などを、素材を変えて作ったものもあります。また、これらの道具は、縄文時代において、さまざまな送りに関する儀礼が行われたと考えられる「盛土」から多く出土するため、当時の精神世界に深く関わるものと考えられます。

この企画展では、このような模倣に関わる道具から縄文人のこころに迫ってみたいと思います。ぜひご覧ください。



【三内丸山遺跡のミニチュア土器】

企画展「イミテーション・ワールド」

会場：三内丸山遺跡センター企画展示室
会期：令和3年1月23日（土）～令和3年5月30日（日）123日間
観覧時間：9：00～17：00（最終入館は16：30まで）
GW期間 9：00～18：00（最終入館は17：30まで）
休館日：1月25日（月）、2月22日（月）、3月22日（月）、4月26日（月）、5月24日（月）
観覧料：常設展観覧料でご覧いただけます。
※中学生以下は常設展観覧料無料です。

平成12（2000）年に三内丸山遺跡が特別史跡に指定されてから今年で20年になるのを記念して、特別史跡指定20周年記念企画展「三内丸山と大湯」を開催しました。

令和2年7月18日から11月8日まで行われた企画展では、特別史跡と大規模集落をキーワードに、三内丸山遺跡、大湯環状列石それぞれについてランキング形式を交えるなどわかりやすく説明しました。

三内丸山遺跡の展示品では、重要文化財をはじめ、2000点を超える日本一の出土量の土偶など、多くの出土品を紹介しました。

また、大湯環状列石の展示では、上空からみた映像を投影し、その構造や



【大湯環状列石出土品展示の様子】

特別史跡指定20周年記念企画展 「三内丸山と大湯」閉幕！

天体との位置関係について解説しました。展示品では、中期の三内丸山遺跡とは異なる縄文時代後期の深鉢形土器、有孔土器、片口土器、三脚石器、土偶や有孔土製品などの出土品を数多く展示しました。これから特別展や企画展をとおして、三内丸山遺跡や縄文文化について理解を深める展示を企画していきます。

詳細についてはホームページやチラシでお知らせします。

さんまる縄文体験について

三内丸山遺跡や縄文文化に触れる「さんまる縄文体験」を実施しました。今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながらの体験となりました。

「発掘をしてみよう」では、発掘調査の方法を学びながら、実際に発掘調査中の現場で土を少しずつ掘り下げていく作業を体験しました。

三内丸山縄文秋祭りを開催しました！

9月26日（土）・27日（日）に三内丸山縄文秋祭りを開催しました。

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、春祭りと夏祭りを中止したため、久しぶりの開催となりましたが、来館者に新型コロナウイルス感染防止対策にご協力いただきながら、地元の方々を中心に約2500名の方にお越しいただきました。

今回は本物の土器に触れるハンズオンイベントを中止するなど、例年の内容を一部変更しましたが、恒例の「発掘調査現地説明会」や「縄文パ



【「発掘ひろば」の様子】

ノラマビューー！」「発掘ひろば」などを実施し、多くの方に秋の三内丸山遺跡を楽しんでいただきました。

次回の三内丸山縄文祭りは2月の開催を予定していますので、皆様ぜひ足をお運びください！

※新型コロナウイルスの状況によって変更となる可能性があります。



【「縄文のムラの箱庭づくり」の作品】

では、ガラス容器の中に縄文時代のムラを作る体験を行いました。企画展で紹介した三内丸山遺跡や大湯環状列石について学んだ後、それぞれの遺跡の特徴を示すオブジェを配置しながら自分なりの縄文のムラをていねいに作りました。

おがたほったてばしらたもの 大型掘立柱建物（復元）改修工事のお知らせ

三内丸山遺跡では、老朽化した大型掘立柱建物の長寿命化のため、下記のとおり工事を行います。工事の進捗により、大型掘立柱建物は仮設足場等に覆われ、見学できないことがありますのでご了承ください。

見学者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。

見学できない期間（予定）

令和3年1月下旬～令和3年6月下旬

※上記の期間のほか、資材の搬入等により見学が制限される場合があります。



【大型掘立柱建物（復元）】

三内丸山遺跡センターのご案内

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館となる場合があります。ご来館の前に、最新の情報をホームページ等でご確認ください。

開館時間（入場は閉館の30分前まで）

10月～5月：9時～17時
GW・6月～9月：9時～18時

見学料

一般410円（330円）
高校生・大学生等200円（160円）
中学生以下無料
※（ ）は20名以上の団体
※特別展の観覧料は別途

休館日

毎月第4月曜日
（第4月曜日が
休日の時はその翌日）
12月28日～1月1日

公共交通機関

・青森市営バス
JR青森駅から⑥番乗り場 三内丸山遺跡線
三内丸山遺跡前で下車 料金310円 約30～40分
・ねぶたん号
JR新青森駅東口 三内丸山遺跡前で下車 料金300円 約15分

さんまるミュージアムの定時案内

当面の間、休止

ボランティアガイドの定時案内

1回目は9時15分から 2回目以降は、10時から1時間ごと
※4月～9月は、16:00出発、10月～3月は15:30出発が最終となります。
お問い合わせ先：三内丸山応援隊 017-766-8282